

令和 5 年度 研修事業の実施状況について

専門研修、特別研修、派遣研修、セミナーについて

(1) 新規研修

① 広報戦略研修

目的： 広報紙作りに関するデザインのレイアウトや写真の撮り方及び昨今増えているSNSを用いた情報発信についての効果的な利用方法を学ぶことで、広報紙作りも含めた情報発信の知識習得を図る。

対象： 全職員

日程： 1日コース×1回

定員： 48名（受講者数55名）

時期： 令和5年5月23日

講師： 佐久間 智之（PRDESIGNJAPAN株式会社代表取締役）

特徴： 元公務員（埼玉県みよし町）であり、全国広報コンクール内閣総理大臣賞を受賞し、総務省のアドバイザーも務める佐久間氏を講師に迎え、広報紙の構成やカメラの撮り方だけでなく、元公務員の視点から内部処理の効率的な進め方や広報媒体毎の活用法など、実務に沿った研修となる。

所感： 定員以上の申込があるなど研修前から注目度が高く、受講生の満足度は80%を超え、「目から鱗の内容が多かった」「期待した以上の話が聞けた」「広報担当になった日に買った本の著者なので話を聞いてよかった」と高評価であった。

一方で、1日研修では、時間が足りないとの意見も複数あり、次年度は2日間の研修とするよう検討したい。

② 情報公開・個人情報保護研修

目的： 情報公開・個人情報保護制度について、その法的仕組みと運用に関する基礎知識の習得を図る。

対象： 全職員

日程： 1日コース×1回

定員： 48名（応募者48名）

時期： 令和5年9月28日、29日

講師： 西ヶ谷 尚人（紀尾井町法律事務所 弁護士）

特徴： 福岡県で講師経験のあり、評価の高い西ヶ谷氏を講師に迎え、最近の裁判事例に触れながら、一般的な問題点などの知識習得を図ることができる。また、本研修を通して令和3年個人情報保護法改正（令和5年4月施行）の自治体実務等への影響について学ぶことができる。

(2) 企画研修

① ロジカルシンキング研修

目的： 日本語では「論理的思考法」といわれる、物事を結論と根拠に分け、その論理的なつながりを捉えながら理解する思考法を学ぶことで、聞き手に分かりやすく伝えられるほか、問題解決の際に原因特定や解決策の立案できることを目的とする。

対象：全職員

日程：1日コース×1回

定員：48名（応募者45名）

時期：令和5年9月5日

講師：照屋 華子（ビジネスブレークスルー大学大学院教授）

特徴：ロングセラー書籍『ロジカル・シンキング』などの著者である照屋氏を講師に迎え、論理的思考の基礎を具体的な技法演習などを通して学ぶとともに、受講生の作成した文書を当日持参してもらい、具体的にどのように修正すればよいか自ら見直しをするなど、書く・話す両面での論理的思考の活用法も学ぶことができる。

② DX研修

目的：DXとは何か、またその必要性を理解し、職員として必要なマインド及び職場における導入のプロセスなどDXに関する基礎知識について学ぶ。

対象：全職員

日程：1日コース×1回

定員：40名（応募者47名）

時期：令和5年8月15日

講師：細川 甚孝（一般社団法人日本経営協会）

特徴：なぜ今自治体でのDXが必要なのか、デジタル社会の目指すビジョンや自治体DX推進計画の説明から基礎知識を学ぶ。また、様々な自治体の活用事例の紹介や導入シミュレーションのような形式でワークを実施する。今話題の生成AIの活用についても触れる予定である。

(3) 特別セミナー

① 働き方改革セミナー「うちの職員〇〇で働き方が変わりました」

目的：働き方改革の成功事例が多くある自治体の具体的な話を聴き、改めて働き方改革について考える機会をもってもらふこと。

対象：全職員

定員：120名（受講者数92名）

時期：令和5年4月27日

講師：東 修平（大阪府四條畷市長）、溝口 直幸（同市総務部人事課長）

特徴：働き方改革のモデル課（子ども政策課）の課長として当時現場で奮闘した溝口氏から具体的な取組事例をご紹介いただいたあと、東氏に市長として働き方改革や意識改革のために職員に伝えたことなど講演していただいた。セミナーの様子をYouTubeで限定公開しており、県内市町村職員に350回以上視聴いただいている。

所感：実際に時間外削減に繋がった取組事例を紹介いただいたことで、参加者のモチベーションアップに繋がったと思う。アンケート結果も、「もっと聴きたかった」「同僚にも聴いてもらいたい」「職場に戻って実践したい」など好評だった。

初めてYouTubeでの公開を試みたが、より多くの職員に視聴してもらえるため、今後のセミナーにおいても前向きに検討したい。

② 発達障がいへの理解と職場での関わり方セミナー

目的：大人の発達障がいは、メンタル不調や職場トラブルに深い関係があるにもかかわらず、しっかりと対応ができていないことがとても多い。発達障がいの特性や関わり方を理解することで、発達障がいがある方の強みを活かした職場づくり・働きやすい職場づくりを目指すセミナー。

対象：全職員

日程：半日コース×2回

定員：240名（120名×2）

時期：令和5年9月29日（申込期限：7月24日）

講師：窪 貴志（株式会社エンカレッジ）

特徴：特性を理解し、関わり方を学ぶことはもちろん、受講生から質問や困りごとを事前に集め、その内容をテキストに反映したり、講師に回答していただく時間を多く設ける。そうすることで、受講生は具体的な事例を基に学ぶことができる。

午前・午後と同内容だが、午後の部は、職場トラブルの相談をよく受ける人事担当者向けの内容を多くすることで、人事担当特有の実務に活用できるようにする。